

# 孫の手通信



## 第13号

平成22年6月30日

玉川孫一郎と歩む会

TEL/FAX: 050 (5549) 6005

<http://magoichiro.blog47.fc2.com/>

## はじめに

6月17日に開かれた6月定例議会にて国民健康保険の税率を改正し、東浪見土地区画整理事業解決のための公共施設管理者負担金(以下「公管金」)を予算に計上しましたのでお知らせします。

一宮町長 玉川孫一郎

## 国民健康保険税を大幅に引き下げ

平成21年度の一宮町国民健康保険事業は、新型インフルエンザの発生も予想を下回り、医療費についても当初の見込みより低い水準で推移。県からの交付金等の増額もあり、1億6,900万円の繰越金が見込まれます。

一昨年からの経済不況により、住民の生活は厳しいものとなっています。そのため今回、国民健康保険税の税率を改正し、所得の低い方の負担を大幅に軽減し

ました。

## 資産割を廃止しました

国民健康保険税は、これまで所得割、資産割、均等割、世帯平等割の4方式により課税してきましたが、平成22年度から資産割を廃止し、所得割、均等割、世帯平等割の3方式に改めます。

均等割、世帯平等割には、所得に応じた軽減措置がありますが、資産割には、そのような措置がなく、所得の低い方に配慮するという現在の課税方式の流れにそぐわないものとなっています。自営業、農業、特に自宅の土地・家屋を所有している年金暮らしの人には、負担が重くなっています。茂原市、長生村、白子町では、すでに廃止されています。

## 一世帯あたり平均2万1千円の引き下げ

資産割の廃止と所得の低い方への均等割、世帯平等割の軽減措置により、一世帯あたり平均2万1千円の引き下げになります。

## 東浪見土地区画整理事業公管金を 予算に計上

東浪見土地区画整理事業については、昨年の広報8月号で町が公管金を負担して早期解決を図るという基本方針をお知らせしたところですが、その後の状況と予定をお知らせします。

現在、残りの保留地は全て組合役員が購入し、契約保証金が支払われています。賦課金については、一次徴収分の徴収率は、94パーセントで、残りは訴訟を

おこなっており、ほぼ全額徴収できる見込みとなりました。

また9月13日納入期限の2次徴収分も5月末時点で15パーセントの徴収率となっています。このような状況を踏まえ、早期解決を図るために今回、公管金2億8,853万8千円(内地方債2億6千万円)を予算に計上したものです。

## 公管金とは

公管金は、土地区画整理法に基づいて町が組合に負担する道路用地取得費相当額です。施行地区の内外にかかわらず道路、公園など広く住民に利用される公共施設の建設については、組合と町が互いに負担することが望ましいという考えで制度化されているのが公管金です。

## 公管金の支払い

公管金の支払いについては、議会が平成18年3月にまとめた調査特別委員会最終報告の内容に沿い、換地処分、賦課金徴収状況等を見て実行します。組合員はこのことを十分に認識され、賦課金を納入期限内に納付されるようお願いいたします。

## 換地計画

組合の予定は、平成22年度、23年度に総会の議決を経て、換地設計、換地処分、登記をおこない、平成24年度に組合解散となります。

町としても県の指導監督の下に換地処分、賦課金の徴収等強力に組合を指導してまいります。

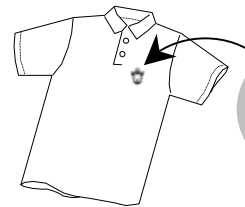
また、これまで議員、町民の皆様には、長期間にわたり、この問題に対して指導・助言をいただきました。お礼を申し上げます。



「いっちゃん」ポロシャツ

衣替えの季節となりましたが、私も職員も町制120周年記念を盛り上げるために、町のキャラクター「いっちゃん」を刺繍したポロシャツを着用してクールビズを実践しています。さわやかな肌触りで気に入っています。

定価は一枚2,200円、サイズもカラーも豊富です。希望者は一宮町商工会(42)3089で販売していますので、申し込んでください。



一宮いっちゃんの刺しゅう入り！カラーは13色

平成22年5月24日 千葉日報

# 芥川しのび碑前祭

一宮・宮



お茶を振る舞う一宮商業高校の生徒たち

作家・芥川龍之介(1892~1927)が、1927年、三方に縁側があり、避暑地として滞在した「芥川荘」を守り続けている。一宮町の旅屋浜付近の代表的な別荘の館「一宮館」で23日、芥川龍之介の文学碑前祭が行われた。献歌、献句が行われたほか、文学博士の川村優さん(84)が芥川の人間性について講演した。



碑前祭で献花する玉川孫一郎一宮町長

芥川ゆかりの地であるこどもは茶道にも関係している。とを記念し91年、一宮館は芥川が塚本に書いた恋文を記した文学碑を建てた。同

作家・芥川龍之介(1892~1927)が、1927年、三方に縁側があり、避暑地として滞在した「芥川荘」を守り続けている。一宮町の旅屋浜付近の代表的な別荘の館「一宮館」で23日、芥川龍之介の文学碑前祭が行われた。献歌、献句が行われたほか、文学博士の川村優さん(84)が芥川の人間性について講演した。

## 【最近の新聞より】

平成22年6月8日 読売新聞



口蹄疫 義援金送ろう

一宮町、町民提案で募集

家畜伝染病「口蹄疫」の発生で被害を受けた宮崎県産畜産農家を支援しようとの一宮町、町民提案で募集。町民から「義援金を集めて宮崎に送りたい」という提案があり、募金を行うことになったという。7月中旬まで町役場内の産業観光課と会計課前の2か所に募金箱を設置。集まった義援金は宮崎県に送金する。同町では畜産農家5戸が約140頭の乳牛を飼育している。玉川孫一郎町長は「口蹄疫は人ごとではない。何かできることがあれば積極的に行動に移していきたい」と話していた。

平成22年6月11日 朝日新聞

## 子供サーファー 元気いっぱい

一宮の東浪見小でプール開き



一宮町の町立東浪見小学校で10日、子供たちをプール開きを体験させるプール開きがあった。一宮海岸はサーフィンが盛んで、同小学校の卒業生でサーフボードに乗った人々を体験させることが恒例となっている。

常任委員会

# 一宮海岸浸食で官民会議

かずさ構想見直し要請

平成22年6月15日 千葉日報

6月定例会議がスタートした。一方、今年2月には市民団体「一宮」の海岸環境を考える会が、魅力ある海岸づくりを進める。【一宮労働企業】永妻能成商工労働部長は、民事再生中の第三セクター、かずさアカアミアパーク(木更津市)に融資した金融機関への損失補償費として今年度補正予算で約7億8800万円増額を要請。委員からは県の責任を追及する意見が相次いでいた。